

# Q 一般質問 A

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、21人の議員が一般質問を行いました。



3月にリニューアルした取手市ホームページ

## 地方創生・活性化 全市で取り組みを

佐藤 隆治 議員

**問** 近年、地方創生がキーワードになってきている。今後向かうべき市の地域活性化の在り方は。

**市長** 人口減少を抑制しつつ、活性化策が必要。そのために、魅力と力で発信課を設置し、強化していく。  
**問** 「魅力と力で発信課」新設によって、どのような取り組みを行っているのか。  
**政策推進部長** 取手市の知名度、魅力度を向上させ、交流人口、定住人口の増加を目指す。そのために取手ブランドを構築し、市内外に情報を発信していく。その一つとして、取手の魅力を発信できる、発信能力の高い若手職員26人が集まり研修を実施した。

**問** 若手職員だけ、市だけで動くのではなく、取手市の活性化への思いをしっかりと市民にも伝え、職員、市民、議会と力を合わせ、他市町村に負けない取手市にしたい。

**市長** 担当業務の枠を越えて物が言えることが必要。全体的な問題意識、問題解決能力を引き上げていく。

**どうなってる？  
冠水対策**

**吉田 宏 議員**  
**問** 28年度の市内の排水対策事業予定は。  
**建設部長** 総額約3億円。駒場、青柳地区など7地区の事業を実施予定。

**問** 市独自に中型の排水ポンプ車を購入するが、その排水能力は。  
**建設部次長** 毎分30ト(小学校の25メートルの水を約10分でくみ上げ)の水を排出する能力がある。必要な機材が全て積載されているため、車1台で現場に行き、排水できる。

**問** ポンプ車導入に当たって国、県から財政的支援を。  
**建設部長** 国、県に補助を付けてもらうよう要望し、現在ある補助制度の中で準備を進めている。

**問** 台風期までに配置を。  
**建設部次長** 早急に配置したい。

**問** 排水対策として使用しないときは、消防署等で使用できる車両を検討しては。  
**建設部長** 今後、検討する。

**改善を！  
藤代小プール脇の市道**

**石井 めぐみ 議員**  
**問** 排水対策として右側に危険な側溝がある。対応は。  
**答** よい手法を考えたい。

**問** 抜本的解決には北浦川の改修だが、一時的な冠水対策に向けた今後の対応は。  
**建設部長** 横町の調査時に合わせて行いたい。

**深刻：  
子どもの貧困問題**

**染谷 和博 議員**  
**問** 子どもの貧困問題を市としてどう把握しているか。  
**健康福祉部長** 約720人の児童、生徒が就学支援制度の支援を受けている。

**問** 学校の中で、援助を受けていない生活がぎりぎりな状況にある家庭の把握は。  
**教育長** 給食費等の未納、滞納。清潔さや洋服の傷み、同じ物を着用など、状況を見て就学援助を勧めてる。

**問** 一人親になったのは自分の責任という考え方が社会に強くあり、心身が壊れるぎりぎりまで支援を受けない一人親が多数いる。制度の周知は。  
**子育て支援課長** 広報等で周知するとともに、窓口でくまなく案内している。

**問** 教育支援と子どもの居場所づくりへの取り組みは。  
**健康福祉部次長** 28年度から学習支援を始める。これを通じて居場所づくりにも対応していく。

**問** 今後の対策は。  
**建設部次長** 交差部分の升をさらに大きくするなど考えていきたい。

**問** 藤代小プール脇の市道は、大雨時、冠水に悩まされている。現状の把握は。  
**建設部長** 市道両側に30センチの側溝が設置され、その先でもう1本の側溝と交差している。この交差部分の升が小さいため2倍程度に大きくした。しかし、台風など豪雨時は膝あたりまでの冠水が発生している。

**学務給食課長** 通学時、冠水していたため迂回を指導した報告もある。

**問** 今後の対策は。  
**建設部次長** 交差部分の升をさらに大きくするなど考えていきたい。



藤代小学校プール脇の市道

**問** 子どもの貧困問題を市としてどう把握しているか。  
**健康福祉部長** 約720人の児童、生徒が就学支援制度の支援を受けている。

**問** 学校の中で、援助を受けていない生活がぎりぎりな状況にある家庭の把握は。  
**教育長** 給食費等の未納、滞納。清潔さや洋服の傷み、同じ物を着用など、状況を見て就学援助を勧めてる。

**問** 一人親になったのは自分の責任という考え方が社会に強くあり、心身が壊れるぎりぎりまで支援を受けない一人親が多数いる。制度の周知は。  
**子育て支援課長** 広報等で周知するとともに、窓口でくまなく案内している。

**問** 教育支援と子どもの居場所づくりへの取り組みは。  
**健康福祉部次長** 28年度から学習支援を始める。これを通じて居場所づくりにも対応していく。

**問** 今後の対策は。  
**建設部次長** 交差部分の升をさらに大きくするなど考えていきたい。

**問** 藤代小プール脇の市道は、大雨時、冠水に悩まされている。現状の把握は。  
**建設部長** 市道両側に30センチの側溝が設置され、その先でもう1本の側溝と交差している。この交差部分の升が小さいため2倍程度に大きくした。しかし、台風など豪雨時は膝あたりまでの冠水が発生している。

**学務給食課長** 通学時、冠水していたため迂回を指導した報告もある。

**問** 今後の対策は。  
**建設部次長** 交差部分の升をさらに大きくするなど考えていきたい。

**問** 子どもの貧困問題を市としてどう把握しているか。  
**健康福祉部長** 約720人の児童、生徒が就学支援制度の支援を受けている。

**問** 学校の中で、援助を受けていない生活がぎりぎりな状況にある家庭の把握は。  
**教育長** 給食費等の未納、滞納。清潔さや洋服の傷み、同じ物を着用など、状況を見て就学援助を勧めてる。

**問** 一人親になったのは自分の責任という考え方が社会に強くあり、心身が壊れるぎりぎりまで支援を受けない一人親が多数いる。制度の周知は。  
**子育て支援課長** 広報等で周知するとともに、窓口でくまなく案内している。

**問** 教育支援と子どもの居場所づくりへの取り組みは。  
**健康福祉部次長** 28年度から学習支援を始める。これを通じて居場所づくりにも対応していく。

**問** 今後の対策は。  
**建設部次長** 交差部分の升をさらに大きくするなど考えていきたい。



取手駅西入口交差点

## みんなに 優しい道路に

齋藤 久代 議員

**問** 取手駅西口から国道6号線とふれあい道路の交差点は、歩道橋はあるが、高齢者は階段の昇降も大変。信号機の青時間が短く、国道を渡り切れない。対策を。  
**総務部長** 高齢者対応になっっている。延長すると渋滞発生などの影響もあるため、現在の約30秒弱での設定となっっている。

**問** 野々井コンビ二前、高井小入口交差点など、国道294号線にある危険箇所改善はどうなっているのか。  
**建設部長** 全て市街地を通る国道のため整備が遅れている。引き続き、国に要望。  
**問** 市道を覆う樹木対策は。  
**管理課長** 財産権があるため非常に難しい問題。地権者へ赴き、伐採等の要請を根気強くしていきたい。